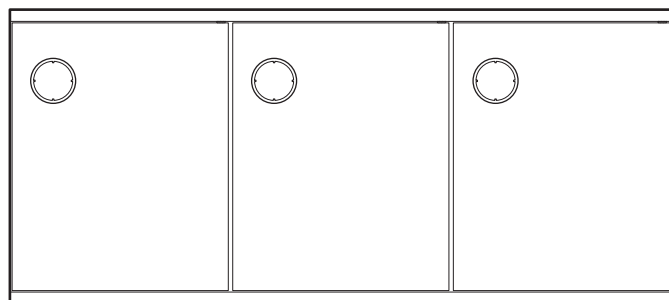


■管理者の方へ ご利用の方に必ず本書をお渡しください。



取扱説明書

PersonalBOX

PX-3-D

お客様の解錠番号 ▼

このシールが製品に貼ってある場合は、ご使用前に必ず製品からシールをはがしてください。

ご使用の前にこの説明書をお読みいただき「タジマパーソナルボックス」の機能をご理解のうえ、末永くご愛用ください。
お読みになったあとは必ず保管してください。

安全上のご注意

注意 | 安全のため必ず守ってください

● 扉にぶら下がらないでください

扉にぶら下がると、扉が変形したり、破損したりすることがあり大変危険です。

● 扉を開け放しにしないでください

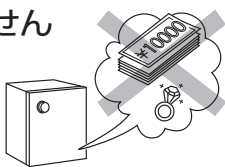
扉を開け放したままにすると、歩行者が扉に当たって大変危険です。開け放しにならないよう、郵便物を取り出した後は必ず扉を閉めて施錠してください。



ご使用上のご注意

金庫や貴重品箱ではありません

簡易保管箱を目的に設計されていますので、貴重品の保管には適しません。現金などを入れたりしないでください。盗難やいたずらに対しては完全には対応できません。



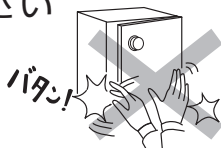
水を含んだものは注意して保管してください

濡れたものをそのまま保管しますと水滴が下の箱に伝わりますので、水分を十分に取り除いてから保管してください。また、香水など液体の入った容器を保管する際は、フタをしっかり閉めて漏れることのないようご注意ください。



開閉時の騒音にご配慮ください

扉を閉めるときは優しくお閉めください。壁を伝わり意外と大きな音が響きます。また、あまり強く乱暴に閉めると錠前の耐久性を弱め、故障の原因ともなります。



定期的なお手入れが必要です

ステンレスは定期的にお手入れをする必要があります。

特に工場地帯で煤や鉄粉が付着しやすい場所や、海岸が近く潮風にさらされる場所ではお手入れをおこたるとさびを誘発し、“もらいさび”を起こします。一般の場所であっても常に清浄を保つよう、定期的なお手入れが必要です。

柔らかい布でから拭きしてください。汚れのひどい場合は中性洗剤を含ませた布で拭いた後、水拭きしてください。その後、から拭きして水分を完全に取り除いてください。ベンジン、シンナー、みがき粉、タワシなどを使って清掃することは避けください。

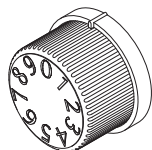
変色、キズ、塗装ハクリの原因となります。



注意 製品の細部までお手入れされる場合は、板金製のため手を切る恐れがありますので、必ずゴム手袋などで手を保護するようにしてください。

CLダイヤル錠について

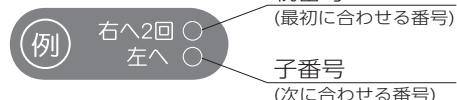
※表紙に貼られたシールの
親番号と子番号が解錠番号です。



○あける

親番号（最初に合わせる番号）を指定方向に回し、2回目盛に合わせます。次に子番号（次に合わせる番号）を逆方向へ戻して合わせると解錠されます。

例 解錠番号シールの見方



○しめる

そのまま解錠番号の状態です。

○かける

子番号の方向へ1回転以上回します。

(注) 1回転以上回さないと子番号を合わせただけで開く場合があります。

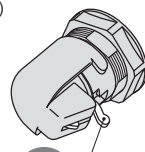
※番号の位置によっては1回合わせるだけで開く場合があります。

親番号は2回以上合わせても支障ありません。

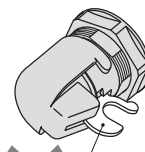
※扉が開いた状態でダイヤルを回さないでください。
故障の原因となります。

○施錠できない場合

(扉が閉まらない)



○ ラッチが
戻っている状態



✕ ラッチが
おき上がった状態

ラッチがおき上がった状態では施錠できません。必ず、ラッチが戻っている状態で扉を閉めてください。ラッチがおき上がった状態になっている場合は、指でラッチを押し戻してください。動かない場合は、その状態で解錠操作をおこない、それからラッチを押し戻してください。



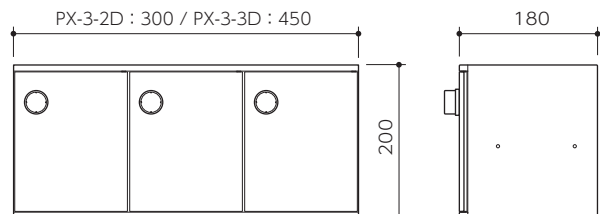
注意 ラッチがおき上がった状態で扉を強く閉めると
錠前が破損することがあります。

○錠前が開かない場合

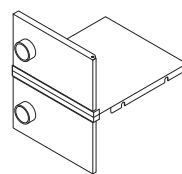
- 1) 指定の回転方向に親番号を2回、必ず目盛に合わせてください。(番号の位置によっては1回合わせるだけで開く場合があります)
- 2) 子番号は親番号を合わせた回転方向とは逆の方向に1回だけ合わせてください。(1回転以上すると再び施錠されます)
- 3) 保管物をつめ込みすぎると、開かなくなる場合があります。保管物をため込みすぎないように、定期的に整理し錠前の施錠部分に隙間を作るようにしてください。

PX-3-D

■姿図 (PX-3-D)

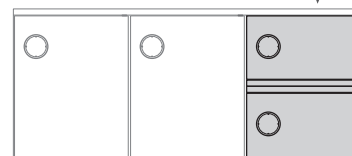


■オプション ※別途ご購入ください。



■PX-3 OPD

扉を上下に分割できるパーツ



■パーソナルボックス保証書

1. 保証期間 竣工引渡日から2年間（箱体の剛性5年間）

2. 保証規定 保証期間内に製造上に起因する故障が本製品に認められた場合、無償で修理致します。

本製品は通常郵便の受箱を目的とし、現金、有価証券、重要書類、宝石、貴金属等の保管には適しません。いかなる配達物、内容物であっても、本製品の故障の有無にかかわらず盗難あるいは紛失、損傷、汚染した場合、当社はその責任を負わないものとします。なお次の場合は保証期間中でも「有償修理」と致します。

- (1) 取り扱い上の不注意や誤ったご使用方法、適切な維持管理をして頂けなかったことによる故障、及び損傷。
- (2) 取付説明書に基づかない施工、専門業者以外による移動・分解などに起因する不具合。
- (3) 建築躯体の変形など本製品以外の不具合に起因する故障、及び損傷。
- (4) 塗装の色あせなどの経年変化、または使用に伴う摩耗などにより生じる外観上の現象。
- (5) 海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境に起因する不具合。
- (6) ねずみ、昆虫などの動物の行為に起因する不具合。
- (7) 火災・爆発などの事故、落雷・地震・噴火・水害その他天災地変または戦争・暴動などの破壊行為による故障、及び損傷。

●保証規定は日本国内においてのみ有効です。離島及び離島に準ずる遠隔地への出張修理の場合は、出張に要する実費を申し受けることがあります。

●本書は必ず保管してください。

■取り替えパーツについて

本製品の取り替えパーツは錠前・扉です。パーツの保有期間は生産中止後10年間です。

取り替えパーツは製品の機能を維持するために必要な部品で、仕様・外観が多少変わる場合があります。

●製品に関する修理・取扱方法等のご相談窓口について

お問い合わせの際はご使用の製品の型式をご確認の上、
下記へご連絡ください。

【製品名】 タジマ パーソナルボックス **PX-3-D 型**



田島メタルワーク株式会社

本 社 〒170-0005 東京都豊島区南大塚1-1-4 鈴木シャッター本社ビル 1F

営 業 課 TEL 03-5977-1761 / FAX 03-5977-1762

サービスク TEL 03-5977-1765 / FAX 03-5977-1766

リフォーム課 TEL 03-5977-1768 / FAX 03-5977-1766

横浜営業所 TEL 045-470-5388 / FAX 045-473-0207

名古屋営業所 TEL 052-955-3807 / FAX 052-955-3887

大阪営業所 TEL 06-6305-3300 / FAX 06-6305-3320

福岡営業所 TEL 092-504-4475 / FAX 092-504-4482

myナンバー錠 解錠番号変更方法について



注意

操作の前に必ずお読みください

- 解錠番号の変更操作は必ず扉に取付けた状態でおこなってください。
- 手順以外の操作をされますと不明の番号に設定される場合がありますので、あわてず・ゆっくり操作してください。
- 変更操作後はお客さまの責任において、解錠番号の管理をお願いします。



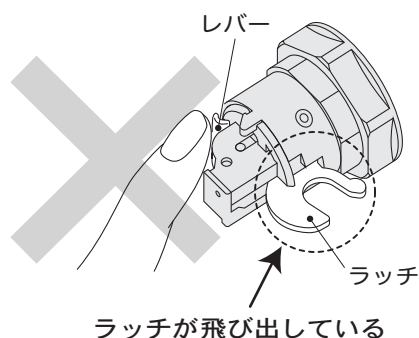
注意

レバー操作の注意!!

ラッチが飛び出した状態でレバーを操作されますと、全く不明の番号に設定されることがあります。

ラッチが飛び出した状態

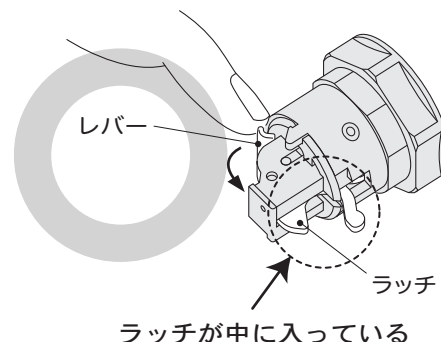
※レバーを操作しないでください



ラッチが内に入った状態

レバーの操作が可能です

レバーを可変位置まで移動させ解錠番号を変更する



注意

新しく設定された解錠番号はお客さまにしかわかりません。
お忘れにならないよう必ずメモをして適切に管理してください。



新しく設定する解錠番号を記入してください。

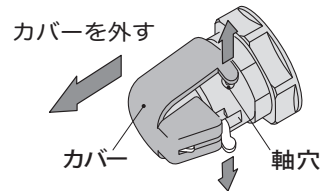
右へ2回	左へ	左へ2回	右へ

解錠番号の変え方

1

カバーを外してください

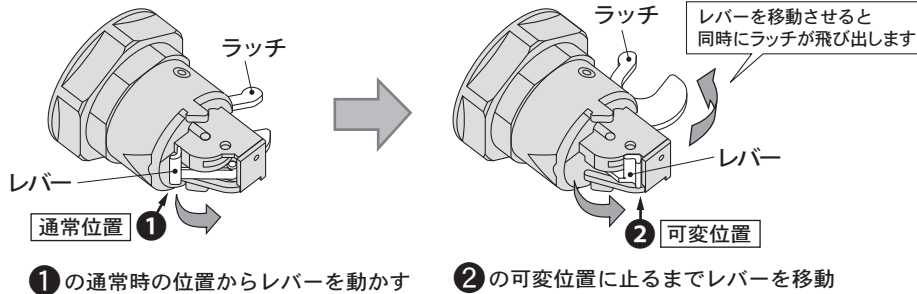
軸穴からカバーの突起を抜き、
カバーを取り外します。



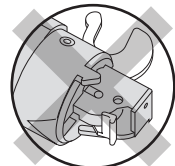
2

レバーを動かしてください

レバーを①通常位置から②可変位置に、動かなくなるまで移動させてください。



注意

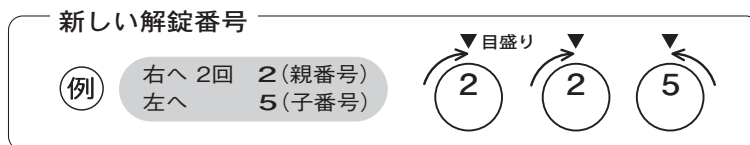


※レバーを途中で
止めないでください

3

新しい解錠番号に合わせてください

新しく設定する解錠番号が決まりましたら、必ずメモをおとりください。



注意

※ダイヤルがズレないように確実に
合わせてください。

※合わせる番号を過ぎて回した場合は
「最初の番号を2回合わせる」から
やり直してください。

■設定方法

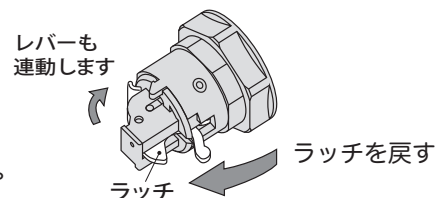
- 最初に親番号を合わせます：ダイヤルを右(左)に回し、親番号を2回、目盛りに合わせます。
- 次に子番号を合わせます：ダイヤルを左(親番号設定の逆方向)に戻して、子番号に合わせます。

4

ラッチを戻してください

ラッチを戻します。同時にレバーも可変位置から
通常時の位置に移動します。

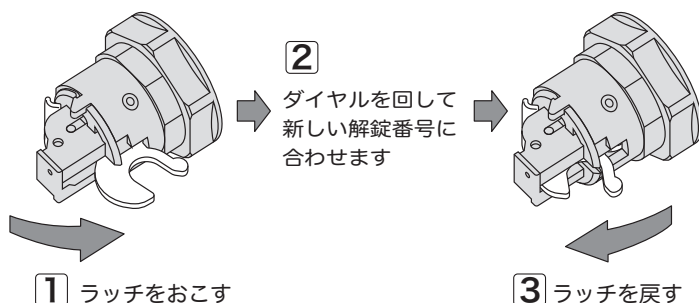
●ラッチを戻すと設定した新しい解錠番号に変換されます。



5

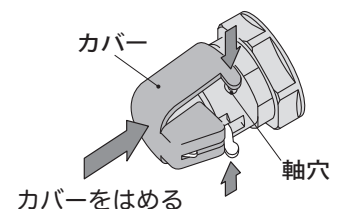
新しい番号を確認してください

ラッチをおこし、新しい解錠番号に合わせます。
ラッチが戻れば正しく解錠番号が設定されています。



6

カバーをはめてください



カバーをはめて、突起を軸穴に
差し込みます。